

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社
 コード番号 6862 URL <http://www.minato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 若山 健彦
 (氏名) 門井 豊

TEL 045-591-5611

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 275 | △26.0 | △21 | — | △22 | — | △27 | — |
| 25年3月期第1四半期 | 371 | — | 20 | — | 17 | — | 10 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | △1.52 | — |
| 25年3月期第1四半期 | 0.64 | — |

※当第1四半期会計期間より、会計方針を一部変更しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。また、前年同四半期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。これに伴い、25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第1四半期 | 1,646 | 667 | 40.5 |
| 25年3月期 | 1,703 | 697 | 40.9 |

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 667百万円 25年3月期 697百万円

※当第1四半期会計期間より、会計方針を一部変更しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。また、前期末については各財務数値に対して遡及処理を行っております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | — | — | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 650 | △10.6 | △10 | — | △20 | — | △22 | — | △1.23 |
| 通期 | 1,400 | 6.3 | 45 | 103.6 | 30 | 387.6 | 25 | — | 1.40 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年3月期の財務数値に対して遡及処理を行っているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率は遡及処理後の数値との比較によるものであります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 26年3月期1Q | 17,863,152 株 | 25年3月期 | 17,863,152 株 |
| 26年3月期1Q | 8,536 株 | 25年3月期 | 8,436 株 |
| 26年3月期1Q | 17,854,683 株 | 25年3月期1Q | 16,554,921 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 7 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期会計期間より、会計方針の変更を行っており、遡及処理後の数値で前四半期累計期間及び前事業年度末との比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待を受けた円安や株高の基調が継続したことで、企業の設備投資や個人消費に拡大の兆しが見られ、景気回復への期待が高まりました。一方で、欧州の債務危機や新興国経済の成長鈍化による海外景気の下振れ懸念等の影響により、先行きは不透明な状況であります。当社の主要取引先であります電子機器メーカーにおきましても、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は「不採算事業からの撤退」及び資産の有効活用等「保有固定資産の適正化」からなる事業構造改善を進めており、収益力の高い経営体質の構築を目指しておりますが、当第1四半期累計期間におきましては、積極的な営業活動と生産体制を徹底的に見直したコスト削減に努めたものの、販売状況は厳しいうちに推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は、275百万円と前年同四半期と比べ96百万円(26.0%)の減収になりました。営業損益につきましても、売上原価の削減、固定費の圧縮などの効果はありましたが、売上高の減収による売上総利益の減益の影響により、営業損失21百万円と前年同四半期と比べ41百万円(前年同四半期営業利益20百万円)の減益になりました。経常損益につきましても、営業外損益はほぼ予定どおりに推移したことから経常損失22百万円(前年同四半期経常利益17百万円)となり、四半期純損益につきましても、役員退職功労金を計上したことなどにより、四半期純損失27百万円(前年同四半期純利益10百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・ デバイス関連

当セグメントの主力であるデバイスプログラマ製品の主要顧客でありますスマートフォン、デジタルカメラ関連企業などが、長引く不況の影響を受け設備投資を手控える動きのなか、本年5月から当社のデバイスプログラマ事業のサービス開始40周年記念キャンペーン等の営業施策を実施しておりますが、消耗品(変換アダプタ)売上などに復調の兆しは見えるものの、売上高は当初計画を下回り104百万円と前年同四半期と比べ83百万円(44.6%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)は、コスト削減効果もありましたが11百万円と前年同四半期と比べ54百万円(83.0%)の減益となりました。

・ タッチパネル関連

当セグメントのタッチパネル製品のうち金融端末(ATM)用中型タッチパネル、アミューズメント施設向け中型タッチパネルは販売台数が顕著に推移し、売上高が当初の計画を上回ったものの、大型タッチパネルの売上高が計画を下回る結果となったことから、当セグメントの売上高は170百万円と前年同四半期と比べ12百万円(6.9%)の減収となりました。一方でセグメント利益(営業利益)は、生産体制の見直しによるコスト削減効果もあり22百万円と前年同四半期と比べ3百万円(19.5%)の増益となりました。なお、当第1四半期累計期間におきましては、10本の指で同時操作ができる10ポイントマルチ大型タッチパネルの販売を開始しており、今後の受注拡大を目指しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて3.2%減少し、799百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が17百万円、仕掛品が16百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が30百万円、その他が13百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて3.4%減少し、847百万円となりました。これは投資その他の資産が31百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて3.3%減少し、1,646百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて5.0%減少し、737百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が23百万円、1年内返済予定の長期借入金が10百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて5.2%増加し、241百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて2.6%減少し、979百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて4.3%減少し、667百万円となりました。これは、当第1四半期累計期間の四半期純損失が27百万円であったことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました平成26年3月期の業績予想のとおりにはほぼ推移すると思われまます。

なお、この業績予想に変化が生じると見込まれる場合には適切に開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(費用計上区分の変更)

技術部門で発生する人件費及び経費については、従来、製造費用として仕掛品、製品及び売上原価に配賦しておりましたが、当第1四半期会計期間より、製造費用と認められるものを除き、販売費及び一般管理費として計上する方法に変更いたしました。この変更は、事業構造改善計画の策定を契機として技術部門の活動実態を見直した結果、組立や請負加工等の製造活動から、受発注の管理や新製品開発へとその内容が徐々に移行してきているため、期間費用と捉えて販売費及び一般管理費として処理する方法が、会社の活動の実態をより適正に表示することになると判断したことにより行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期累計期間及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ15,971千円増加しております。また、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、前事業年度の期首の利益剰余金残高は72,976千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 268,613 | 238,538 |
| 受取手形及び売掛金 | 334,331 | 351,919 |
| 製品 | 66,662 | 57,955 |
| 仕掛品 | 45,859 | 62,129 |
| 原材料及び貯蔵品 | 92,950 | 84,898 |
| その他 | 17,292 | 3,908 |
| 流動資産合計 | 825,709 | 799,349 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 635,450 | 635,450 |
| その他 | 1,256,307 | 1,261,919 |
| 減価償却累計額 | △1,117,343 | △1,120,915 |
| 有形固定資産合計 | 774,413 | 776,454 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 8,488 | 8,028 |
| その他 | 140,564 | 108,146 |
| 貸倒引当金 | △45,968 | △45,383 |
| 投資その他の資産合計 | 94,596 | 62,762 |
| 固定資産合計 | 877,498 | 847,246 |
| 資産合計 | 1,703,207 | 1,646,596 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 163,275 | 139,887 |
| 短期借入金 | 548,134 | 544,801 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 21,600 | 10,800 |
| 未払法人税等 | 7,940 | 2,411 |
| 製品保証引当金 | 900 | 800 |
| その他 | 34,620 | 39,162 |
| 流動負債合計 | 776,470 | 737,863 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 56,800 | 67,600 |
| 退職給付引当金 | 36,555 | 34,024 |
| 役員退職慰労引当金 | 17,939 | 14,340 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 109,787 | 109,787 |
| その他 | 8,283 | 15,664 |
| 固定負債合計 | 229,365 | 241,416 |
| 負債合計 | 1,005,835 | 979,279 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,370,792 | 1,370,792 |
| 資本剰余金 | 126,361 | 126,361 |
| 利益剰余金 | △721,350 | △748,446 |
| 自己株式 | △889 | △894 |
| 株主資本合計 | 774,913 | 747,812 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,798 | 8,843 |
| 土地再評価差額金 | △89,339 | △89,339 |
| 評価・換算差額等合計 | △77,540 | △80,495 |
| 純資産合計 | 697,372 | 667,316 |
| 負債純資産合計 | 1,703,207 | 1,646,596 |

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 371,496 | 275,004 |
| 売上原価 | 195,229 | 155,929 |
| 売上総利益 | 176,267 | 119,075 |
| 販売費及び一般管理費 | 156,014 | 140,765 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 20,252 | △21,689 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 421 | 582 |
| 受取賃貸料 | 1,217 | 2,846 |
| その他 | 1,262 | 777 |
| 営業外収益合計 | 2,901 | 4,205 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,380 | 4,893 |
| 為替差損 | 676 | 293 |
| その他 | 496 | 100 |
| 営業外費用合計 | 5,553 | 5,287 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 17,600 | △22,771 |
| 特別損失 | | |
| 役員退職功労金 | 1,500 | 3,115 |
| 投資有価証券評価損 | 4,371 | — |
| 特別損失合計 | 5,871 | 3,115 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | 11,729 | △25,886 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,209 | 1,209 |
| 法人税等合計 | 1,209 | 1,209 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 10,519 | △27,095 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。